



# 明野ふくろう便



明野中央病院広報誌 | vol.16  
日本医療機能評価機構 認定病院

**第25回 糖尿病相談会を開催**  
3月5日(土)第25回糖尿病相談会を開催しました。  
今回は『食事』『運動』『薬物』療法がある中で、食事療法を取りあげました。まず木下院長が『糖尿病ってどんな病気?』と題し、クイズなどを織り交ぜながら、糖尿病で高血糖になるメカニズムやインスリンの働き、糖尿病の合併症について説明しました。糖尿病の治療は、HbA1c ※(ヘモグロビンエーワンシー)の値を6.5%未満にコントロールすることが重要であり、病気をコントロールするのは患者さん自身の糖尿病への理解と正しい食生活や運動の実施、そして病院での検査や薬による治療などが大切です。患者さんと病院の協力によるHbA1cのコントロールを実施していきますよ。  
次に中村管理栄養士より食事療法について説明しました。食事療法においては、食べてはいけない物が多いわけではなく、大切なことは『適正なエネルギー量』を『バランス良く』『規則正しく』とることが大切です。参加者全員の必要カロリー数を調べ、

第25回

## 糖尿病相談会を開催 ～糖尿病の食事療法～



▲管理栄養士の中村より食事のポイントと調理方法について解説

※ HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー) = 過去1~2カ月の血糖の平均値の指標。高血糖を持続していると高い値になる。

食生活での重要なポイントを確認しました。『野菜が良いのは理解できるとは、好きな野菜を食べ続けて良いか?』『仕事により夕食の時間が遅くなった場合どうすればよいか?』『食後のコーヒーはブラックなら良いか?』など、参加者より日頃の食生活に関する多くの質問があり、熱心にメモを取る姿が見受けられました。  
今回の糖尿病相談会も、参加者の皆様が楽しんで糖尿病について学べるよう、糖尿病スタッフ一同取り組んで参ります。ご参加いただきありがとうございました。

① 生
② 蒸す
③ 焼く
④ 炒める
⑤ 煮る
⑥ 油で揚げる

※下に行くほどカロリーが高いので注意する

① 食事の時間 朝食7~8時 昼12~13時 夕18~19時
② 食事の量 指示カロリー内に抑えること 副食(おかず)の量のとりすぎに注意
③ 食事の回数 1日3食でまとめて食いをしない
④ 食事の内容 バランスの良い食事(野菜中心)

※間食(おやつ)・アルコールの量にも注意

太い血管の障害(動脈硬化)	脳梗塞や心筋梗塞
細い血管の障害(三大合併症)	腎症・網膜症・神経障害
動脈硬化を防ぐために HbA1cを5.8%未満に	
糖尿病三大合併症を防ぐために HbA1cを6.5%未満に	

※動脈硬化には禁煙と高血圧・高コレステロール血症のコントロール(肥満の是正)も必要



## 外来担当医師のご案内

担当医師名	月	火	水	木	金	土	
内科	院長 木下 昭生	午前 ○	午前 ○	午前 ○	午前 ○	午前 ○	午後 休診
	内科部長 西宮 実	午前 ○	午前 ○	午前 ○	午後 ○	午後 休診	午後 休診
	宮崎 眞理	午前 ○	午後 ○	午後 休診	午後 休診	午後 休診	午後 休診
	大谷 哲史	午後 ○	午後 休診	午後 休診	午後 休診	午後 休診	午後 休診
	石井 寛	午後 ○	午後 休診	午後 休診	午後 休診	午後 休診	午後 休診
	井上 佑子	午後 ○	午後 休診	午後 休診	午後 休診	午後 休診	午後 休診
外科	森永亮太郎	午後 ○	午後 休診	午後 休診	午後 休診	午後 休診	午後 休診

担当医師名	月	火	水	木	金	土	
整形外科	副院長 中村英次郎	午前 ○	午前 ○	午後 ○	午後 ○	午後 休診	午後 休診
	こつかんせつ・リウマチセンター長 藤川 陽祐	午前 ○	午前 ○	午後 ○	午後 ○	午後 休診	午後 休診
整形外科	整形外科部長 井口 竹彦	午前 ○	午後 ○	午後 ○	午後 ○	午後 休診	午後 休診
	整形外科部長 工藤 修己	午前 ○	午後 ○	午後 休診	午後 休診	午後 休診	午後 休診
形成外科	橋本 二郎	午後 ○	午後 休診	午後 休診	午後 休診	午後 休診	午後 休診

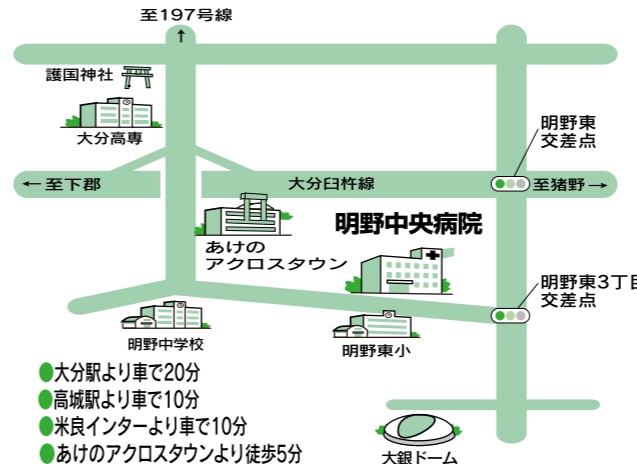
4月1日より非常勤医師が変更になりました

[木曜日]  
横山 敦  
↓  
井上 佑子



## INFORMATION

診療科目	受付時間
内科・消化器内科・リウマチ科 整形外科・形成外科 リハビリテーション科 麻酔科(森 正和)	月曜日~金曜日 8:30~11:30 14:00~17:30 土曜日 8:30~11:30 日曜日・祝祭日 休診



**病院理念**  
医療・介護を通じ、患者さんの生活の質の向上に努める

**基本方針**

- 一、家庭的な優しい医療・介護の実施に努めます
- 一、地域の皆様から安心・信頼される病院づくりに努めます
- 一、患者さんひとりひとりの権利を尊重するように努めます
- 一、たえず医療・介護の質の向上に努めます
- 一、地域の健康増進・病気の予防に努めます

**患者さんの権利について**

私共は、患者さんの権利に関するリスボン宣言を遵守致します

1. 平等で最善の医療を受ける権利
2. 安全に医療を受ける権利
3. 治療を自由に選択し自己で決定する権利
4. 治療内容を知る権利及び知らないでいる権利
5. プライバシーが守られる権利
6. 他の医師や第三者の意見も聞き納得して治療を受ける権利(セカンドオピニオン)

医療法人社団 唱和会

# 明野中央病院

日本医療機能評価機構 認定病院

発行日 2011年4月  
〒870-0161 大分県明野東2丁目7番33号  
TEL 097-558-3211(代表) FAX 097-558-3709  
E-mail akenohp@fat.coara.or.jp  
http://www.coara.or.jp/~akenohp/

# 病院機能評価(審査体制区分1 Ver.6.0)の審査結果が公開されました。

財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価(審査体制区分1 Ver.6.0)の認定について、2010年12月3日に当院でも認定更新を受けましたが、更新審査結

果が公開されました。審査結果は、同機構のホームページまたは当院のホームページで公開しています。

## 審査結果総括 前文 (日本医療機能評価機構HPより)

貴院では、病院管理者・幹部等は病院運営においてリーダーシップを十分に発揮されており、全職員が一丸となって医療の質の改善に継続的に取り組まれている。今回の病院機能評価の受審は、認定の更新のためであるが、必要な規程やマニュアル等は整備され、多職種によるカンファレンスの開催や記録は行われていた。前回の受審で指摘された項目の改善にも努められており、手術・麻酔機能は管理責任者を中心に適切に運営されていることがうかがえた。チーム医療の推進ならびに診療の質の向上に積極的に取り組んでいることは評価できる。このたびの病院機能評価の受審を契機に、医療機能の向上にさらに取り組まれ、貴院が今後益々発展されることを期待する。



各領域の総評はホームページ上をご覧ください。



## 第10回大分外傷研究会を開催

第10回大分外傷研究会が3月10日(木)に行われました。当院副院長の中村英次郎が代表世話人(総合同会)を務め、医師、看護師、理学療法士、作業療法士の方など今回も約200名のご参加をいただきました。

星城大学リハビリテーション学部 講師 飯塚照史先生の『外傷に対するハンドセラピー』、南川整形外科病院リハビリテーション科主任作業療法士 大川尊規先生の『超音波装置を利用したリハビリテーションの臨床応用・安全性を考慮したハンドセラピー』、川崎医科大学 整形

形外科 教授 長谷川徹先生の『四肢及び脊椎重度外傷治療の最前線』の3つの講演が行われ、各先生の外傷に対するアプローチの方法や、患者さんの今後を見据えたりハビリの計画と実施方法が報告されました。

研究会の最後に長谷川先生より「重度外傷に対するポイント」は初期診断が予後を決定する。損傷の正確な把握、障害がどの程度残るかを予測し、速やかな手術計画を立て実施す



▲多くの方にご参加頂き、積極的な意見交換が行われました。

る。大切なことは1つの損傷に対していくつかのオプションを身につけることが重要です。そして術後のリハビリテーションとの連携を行い患者さんへ一番良いアプローチを行うってほしい」と話されました。講演後は情報交換会も行われ、大川先生より実際のエコー機器を使用したセミナーも行われました。

ご参加ご協力いただきました皆様、心からお礼申し上げますとともに、大分の救急・外傷医療の発展のため、ますますご活躍されますよう祈念いたします。

2010年度 (Ver.6) 全6領域 125項目		
評価	項目数	割合
「2」以下の数	0	0%
「3」の数	8	6.4%
「4」の数	116	92.8%
「5」の数	1	0.8%
合計	125	

評価	評価結果の解釈
5	極めて適切に行われている/極めて適切な形で存在する/極めて積極的に行われている
4	適切に行われている/適切な形で存在する/積極的に行われている
3	中間
2	適切さにやや欠ける/存在するが適切さに欠ける/行われているが消極的である
1	適切でない/存在しない/行われていない

日本医療機能評価機構ホームページ (明野中央病院ページ)  
http://www.report.jcqh.or.jp/jcqh/menu\_kekka.php?page\_id=hp040N&nintei\_id=4758

明野中央病院ホームページ (サイト左側「機能評価」のメニューよりご確認ください)  
http://www.coara.or.jp/~akenohp/

## 地域医療連携室より

訪問看護をご存知ですか？

地域医療連携室では、医療福祉相談をお受けしております。医療福祉相談では、どんな相談ができるのでしょうか

訪問看護とは、療養生活を送っている方のご自宅を訪問し、必要な看護サービスを行う制度です。病院での治療が終われば、在宅での療養生活が始まります。例えば、退院するときにこんな心配や不安はありませんか？

- 家族は、本当に介護ができるのかな？ 退院してから容態が急変したらどうするの？
- 間違えずにちゃんと薬が飲めるのかな？ 日常生活がちゃんどできるのかな？
- 再入院することになったらどうすればいいのかな？
- ちゃんと通院できるのかな？
- 転んだらどうしよう？
- ひとりでも自宅でリハビリできるのかな？
- 療養生活を考えると不安だらけで、どうしたらいいの？

こんなときは「訪問看護」を利用することで、在宅療養に関する心配や不安が軽減するだけでなく、病状の悪化を防ぐことができます。

自宅での生活で、ご本人やご家族が心配なこと、不安なこと、希望すること

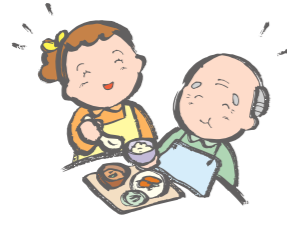
▼今年も会場からは大きな笑いとお手拍子がありました。



▲「反対陣」を話した中山和充さん

1月15日(土)、県南落語組合大分支部の断家(はなしか)の方々3名をお招きし、恒例となりました「新春明野寄席」を行いました。会場の1Fリハビリテーションセンターに臨時の高座を設置し、入院患者さん、ご家族、近隣住民の方々など約100名のご参加をいただきました。

## 新春 明野寄席を開催



## 地域医療連携室(佐藤)

TEL 097-5508-0211

【相談時間】  
月曜日～金曜日は9時30分から17時まで  
土曜日は9時30分から12時まで